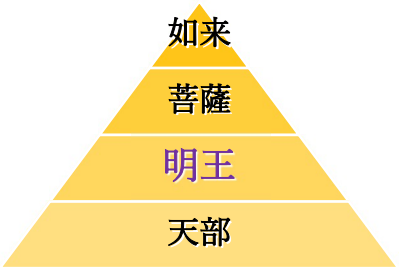
NEWS NEWS NEWS　2022年　11月号

株式会社新経営サービス

新経営の 知る人ぞ知る京都　Vol. 29

仏像エトセトラ　その3

仏像は大きく分けると4つのグループに分かれます。
今回は「明王」と呼ばれる仏像が置かれている京都のお寺をご紹介します。



■明王（みょうおう）

明王とは、密教における最高仏・大日如来の命を受けて仏教の教えに従わない者たちを忿怒の形相で教化する仏です。

特に有名な明王は「不動明王」で大日如来の化身として、どんな悪人でも仏道に導くという心の決意をあらわした姿で、怒りの表情をしています。

教王護国寺（東寺）

講堂　不動明王座像（国宝）

講堂の立体曼荼羅にある五大明王の中心に置かれているのが不動明王像で、日本最古のものです。

醍醐寺

「醍醐の花見」で有名な醍醐寺では、毎年2月に五大明王に由来する行事があり「五大力さん」として親しまれています。

木造不動明王像

狸谷山不動院

「タヌキ谷のお不動さん」として知られ、本堂の奥が洞窟になっていて、岩肌の部分に石造りの不動明王が安置されています。

不動明王像

その他に…

愛欲・煩悩を、悟りを求める心に導き、様々な悩みを救ってくれる**「愛染明王」**。

東寺塔頭観智院
愛染明王像

不浄を浄化する**「烏枢沙摩明王（うすさま）」**。
トイレによく御札が貼られています。

新刊のお知らせ 「やさしくて強い社長になるための教科書」

■出版社：あさ出版
■定　価：1，650円（税込）

やさしくて 強い社長
になるための
教 科 書

やさしいだけだと会社は潰れる
厳しいだけでも会社は伸びない

「いい人」というのは最高の経営資源ですが、この経営資源を生かすには方法があります。

本書では、経営姿勢のよい「いい経営者」が、その想いを真の意味で具現化して会社を持続的成長に導くために、

・具体的に何を、どのように”自分磨き”を進めればよいのか？
・何を観ていくことが的確な意思決定につながるのか？
・心の管理を適切に行い、正常な判断力を維持するために何をするべきか？ など

約30年間さまざまな中小企業経営の支援をしてきたコンサルタントが、空理空論ではない実践的な力量向上の方策を提示します。

著者
専務執行役員
統括マネージャー
志 水　浩

目 次

●プロローグ
・社長に対する誤解と真実
・時代の転換期における中小企業経営のエッセンス

●第1章　時代は「やさしくて強い社長」を渇望している
・これからの時代に求められる「やさしくて強い社長」とは？
・本当の意味で社員を幸せにする社長とは？

●第2章　社長の三つの力が会社を成長軌道に乗せる
―― 疑う・問う・軸をつくる力
・第一の力　「本当にそうなのか？　思考」が未来を切り拓く
・第二の力　ありえない「問い」を立てることが発想力を高める
・第三の力　悔いなく・迷いなく・失敗なく経営判断を行うための「言語化」

●第3章　これが重要！　中小企業の組織運営・人材育成の勘どころ

●第4章　社員・組織を良き世界に導く「社長」のリーダーシップ

●第5章　心が結果をかたちづくる！　「社長」の心のコントロール法

●エピローグ

＜あとがき＞
11月に入るともうすぐ立冬、季節が巡るのはほんとに早いものです。体を温めるためには運動も大切。できるだけ体を動かして、よく食べ、よく寝ると免疫力も上がるとか。今年もあと2ケ月足らず。楽しく過ごして締めくくりたいと願っています。（木下）

発行　株式会社新経営サービス
〒600-8102　京都市下京区河原町五条西入本覚寺前町830　京都EHビル6F
TEL　075－343－0770　FAX　075－343－4714
URL: https://www.skg.co.jp　E-mail:mas@skg.co.jp